



**経済建設委員会**

平成20年10月22日～24日

◆ブランド推進事業について  
(青森県八戸市)

・地域資源を活用した八戸ブランドの開発、新産業の創出や地域の産業基盤の強化、八戸ブランドの商標登録支援事業や魅力発信事業など、地域ブランド戦略について視察を行いました。

「地域に愛されていないならば、長続きしない」「行政の仕掛けたもので成功した例はない」「トップセールスが大切である」など経験に基づいた戦略は、非常に参考となりました。

◆盛岡特産品ブランドについて  
(岩手県盛岡市)

「盛岡特産品ブランド認証



ブランド戦略を視察  
(青森県八戸市)



特産品のマーケティングなどを視察  
(岩手県盛岡市)

制度」と認証された特産品の首都圏や関西でのプロモーション及びマーケティングについて視察を行いました。

◆地産地消とアグリビジネスについて (宮城県仙台市)  
・担い手育成支援や地産地消農産物の付加価値を高めるアグリビジネスの推進等、農林業者の支援について視察を行いました。

特に地産地消の推進では、県内産の食材を使うホテルや飲食店を募集するなど、地域ぐるみでの取り組みは参考となりました。

**市街地活性化  
特別委員会**

平成20年4月22日～23日

◆出石まちづくり公社  
(兵庫県豊岡市)

・出石そばを生かした観光振興とNPO、第3セクター、行政、住民が一体となつてのまちづくり活動について視察を行いました。

平成10年に第3セクターとして「出石まちづくり公社」を設立した当初は、資本金5千万円のうち、町(当時)が50%出資しましたが、行政から色々言われないように、行政の出資比率を50%から20%に下げたため、商工会や個人出資で4千800万円の増資を行い自立した運営を行っている。



まちづくり成功の秘訣を視察  
(兵庫県豊岡市、出石まちづくり公社)



豊岡市民プラザ  
(兵庫県豊岡市)

また、国土交通省が認定する観光力リスマのリーダーシップが町全体を盛り上げており、市民や参画する人をその気にさせるキーマンの必要性を感じました。

◆豊岡市民プラザ  
(兵庫県豊岡市)

・JR豊岡駅前に再開発としてオープンした地上7階地下1階の複合施設の視察を行いました。

学習、子育て支援、市民文化活動の貸し館機能や、日常活動の企画運営拠点が主なコンセプトとして運営されていましたが、館長のパーソナリティーがユニークで、市民活動の活力につながっていると感じ、ここでもキーマンの存在が感じられました。